

国会通信

茨城選出の議員

個別避難計画  
普及を求める

民進・藤田氏

民進党の藤田幸久氏(参院茨城)は21日、参院東日本大震災復興特別委員会で質問に立ち、2015年9月の鬼怒川堤防決壊を教訓

に国土交通省下館河川事務所が、住民一人一人が災害時に取るべき避難行動を記した「マイ・タイムライン」作りを進めていることについて有効性を指摘した上で、逃げ遅れゼロを目指すためにも全国的な普及を求めた。

国や自治体、河川管理者などが協議会をつくり、災害時に取るべき行動をまとめることなどを盛り込んだ水防法改正案を巡り、藤田氏は、協議会と住民の連携

を深めるべきと指摘。「余裕を持つて避難できるような自分の行動を表にまとめ、(災害時の)想像力を働かせることは重要」と述べ、マイ・タイムラインの作成について国土交通省を挙げて各地に広めるよう訴えた。

国土交通省水管理・国土保全局の野村正史次長は「住民らにも協議会に入ってもらい、一人一人が自分の力で判断して、災害から身を守るといった意識醸成を図っていければ」と答えた。